

## 各業種の進捗状況の概要(2018年度実績)

	目標指標	基準年度 /BAU	削減目標 上段:2020年目標 下段:2030年目標	2018年度実績	進捗率 上段:2020年目標 下段:2030年目標	想定比	2019年度 の見通し	CO2排出量 2018年度実 績 (万t-CO2)	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2017年度における 削減目標の変更履 歴
一般社団法人 日本新聞協会	エネルギー消費原単 位	2013年度	- (注9)	年平均 ▲4.4%	- (注9)	-	-	37.41万t-CO2	リストアップ	-	リストアップ	-
			エネルギー消費原単位 年平均▲1%		-							
公益社団法人 全国産業資源循環連合会	温室効果ガス排出量	2010年度	±0%	16%**	-	-	-	580.8万t-CO2	リストアップ	-	-	-
			温室効果ガス排出量 2010年度比▲10%		-							
一般社団法人 全国ペット協会	CO2排出量原単位	2012年度	±0%	▲4.0%***	4%*	-	-	0.506万t-CO2	-	-	-	-
			CO2排出量原単位 2012年度比 ±0%		4%							

(注1)2017年度実績及び2018年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2)「進捗率」は、目標水準と比較した2017年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

\*全国ペット協会は、基準年度と目標年度の水準が同一のため、(2020年度の目標水準-今年度実績)/(2020年度の目標水準)として算出。

(注3)「想定比」は、2017年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4)「目標の引き上げ」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5)2017年度実績の算定にあたり使用された係数。

\*\* 全国産業廃棄物連合会の目標には電力の使用に伴う排出量は含めない、その他燃料の係数には日本国温室効果ガスインベントリ(2015年4月)を使用。

\*\*\* 全国ペット協会は、電力排出係数に2006年度の実績CO2排出係数0.410kg-CO2/kWhを使用。

(注6)低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注7)海外での削減貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注8)革新的技術の開発・導入は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注9)日本新聞協会は、2020年度目標を既に達成し2030年目標及び第3次自主行動計画に移行したため2020年度目標を記載していない。